

なんだ・かんだ

◆ 「初願(ほつがん)」 ◆

私の菩提寺では、八日堂という新年1日から8日まで朝5時から2時間ほどお経を上げる行事があり、私はここ数年この初日と最終日に出ています。元旦にはお経を読み終わった後、ご住職が新年のご挨拶をされるのですが、今年は「発願」についてのお話でした。

仏教用語で、「ほつがん」と読みます。意味は、願を起こすこと。特に、悟りを得て衆生(人間をはじめとする全ての生物)を救済しようと決意すること。だそうですが、一般には、自分の望みが実現するよう神仙に願を立てること。つまり目標を立てることです。年当初に、自分の目標とすることがかなえられるように願をかけましょう。と言うお話です。そして目標は、頑張れば何とかかなえられる目標。簡単すぎても、難しすぎてもいけないそうです。

私も、仕事のこと、健康のこと、趣味のこと等毎年年初めに目標を立てます。以前に本通信でご紹介したこともある、「ウイッシュリスト」として100近くの目標を今年も立てました。毎朝この目標を見返して、確認をしています。

さて、新年の挨拶回りを終えて、お得意様の状況としては、今年はそれほど悪い会社はないように感じました。

仕事が無くて困っているという話は無く、「忙しくて仕事がこなせるか分からない。」「ああ、今年は忙しいよ。」「今年は、前年並みじゃないかな。」「例年年初めは仕事はないが、今年は珍しくあるので、このまま行ってくれば・・・」と言うようなお話が多くあり、悲観的な話をされる方は、ほとんどありませんでした。

今年の大発会では、株は500円近く上がり、日経平均も2万円間近となりさい先の良いスタートになりました。元旦の日経新聞で、大手企業の経営者が予想する今年の経済についての記事では、2017年は、「穏やかな景気回復と継続」。GDPの伸び率の平均は1.0%程度。海外が牽引し、設備投資も増加すると楽観的な予想をしている経営者も多くいらっしゃいました。

トランプ米次期大統領の、インフラ投資、減税、規制緩和などの政策期待による景気はもちろんですが、昨年12月に発表された、各国の景況感指数は中国、欧州、米国、日本とここ数年で最高を記録し、そろって堅調で、実態経済も上昇の兆しにあるようです。

そんな期待の中、2017年の経済を占う上でのキーワードは、やはり「トランプ米次期大統領」「不確実性」「変化(への対応)」などが目立っていました。昨年は、英国の欧州連合(EU)離脱や米大統領選挙では事前の予測を覆す動きが広がり、世界情勢の不透明感が増しました。今年は、仏大統領選挙やオランダとドイツの議会選なども控え、従来以上に不確実性の高い1年になる可能性もあります。

毎年、今年はどうなるか分からないと新年を迎えますが、特に今年は分かりません。いずれにしろ、企業は何があっても耐えることが出来る基礎体力を蓄えなければなりません。

仕事が絶えない。やりがいがある。利益が出ている。給料が高い。内部留保が厚い。そんな会社になりたいと願いを掛けました。



■ 住宅ストック支援事業 ■

良質な既存住宅の市場流通を促進して、耐震化率・省エネ適合率の向上を図り、若者の住居費負担の軽減する。且つ、リフォーム市場の拡大を目的とした補助金制度です。(下記が要件となります。)

- ・40歳未満の既存住宅購入について、購入前に住宅診断を実施し、既存住宅売買瑕疵保険に加入する
 - ・リフォームに際し、耐震性が確保されエコリフォームを実施する
 - ・耐震性のない住宅を除却し、エコ住宅に建替える
- 住宅の購入改修をお考えの方、検討されてはいかがでしょうか。

本年も宜しくお願ひ申し上げます

1月も終わりに近づいていますが、皆様今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。今年も拙文にお付き合下さい。

二数日大変寒い日が続きます。私の自宅は、海に近いので滅多に氷点下にはならないのですが、先日出勤時に車の温度計が何年か振りにマイナスを表示していました。日本海側を中心に豪雪の被害のニュースが毎日の様に流れています。暖かい春が待ち遠しいです。

さて、今、世界中で最大の関心事は、トランプ新大統領誕生だと思いますが、20日の就任以来、その傍若無人の風が吹き荒れています。トランプ氏が大統領になった要因の一つは、アメリカの所得格差の拡大ですが、それをすべて、移民と諸外国の責任に転嫁し、自らへの批判を一方的に虚偽と決め付け、米国と諸外国の責任に転嫁し、自らへの批判を一方的に虚偽と決め付け、米国と諸外国の責任に転嫁し、自らへの批判の方もいます。親イスラエルも危険な臭いがします。

反面、ニューヨーク株は乱高下しながら、史上最高値を付けました。今年1年どうなるのでしょうか？ 先の読めない1年の始まりです。

代表取締役 服部 徹 郎

社員ブログ

● 住宅ストック支援事業 エコリフォーム ●

営業3課 森 直子

「良質な既存住宅の購入」「エコリフォーム」「エコ住宅への建替え」に対し、一定の条件を満たせば補助金が交付される、「住宅ストック支援事業」の補助金受付けが昨年11月より始まりました。この支援事業は、最大30万円、耐震改修を伴う場合は最大45万円の補助を受けることができます。

リフォームの際、「暑い」「寒い」「結露」というお悩みをよく耳にします。そして、11月から3月の冬場は、住宅内の死亡者数が圧倒的に多くなりますが、これは、ヒートショックという、暖房で暖められた部屋から、浴室などの室温の低い場所へ移動した時の急激な温度変化により、血圧が大きく変動して、失神や心筋梗塞、脳梗塞などを起こすことが主な原因となっています。

対策として住宅の断熱工事がとても重要となって参ります。窓や出入口などの開口部分の断熱工事は作業時間も短く、工事をする事によって、省エネ、防音、防犯効果も高めることができます。

申請の受付期間は今年の12月までとなっておりますが、予算が無くなり次第終了となりますので早めの準備が必要です。

補助金を利用して賢くリフォームをすることをオススメします。

是非お気軽にご相談ください。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL <http://www.chikiri.com/>